

# 「笑顔あふれるまち飯南町」の実現に向けて

総合振興計画に掲げる6つの分野ごとに  
令和4年度の主な事業を紹介します。

★:新規事業



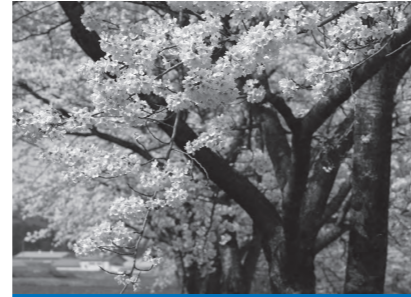
## 自治・協働

地域おこし協力隊の活動	4,090万円
集落支援員の活動	1,850万円
定住対策に取り組む集落への補助金	2億4,197万円
	1,500万円
地域づくりのための 人材育成講座、活動団体補助金	1,192万円
特定地域づくり事業協同組合への支援	1,500万円



## 保健・医療・介護・福祉

老人ホーム入所措置	1億2,194万円
障がい者福祉の推進 (医療費助成、介護・訓練等給付等)	2億4,197万円
医療従事者確保対策(学生への支援金、就業支度金)	1,200万円
各種健診の実施(健診、がん・歯科検診、乳幼児健診等)	3,803万円
飯南病院の運営資金補助	3億4,919万円



## 自然環境

太陽光発電、薪ストーブ導入補助金	96万円
県自然環境保全地域(赤名湿地・女亀山)の保全活動	33万円
森林作業道整備への支援(対象:事業者)	500万円
造林事業への支援(対象:事業者)	600万円
★J-クレジット(カーボンオフセット)の取組	



## 生活環境

★町内に住宅を建設する若者世代への補助金	350万円
八神里山住宅(3棟)、定住促進賃貸住宅(八神1棟)建設	1億2,860万円
公共交通の確保(町営バス、デマンドバス等)	9,909万円
ごみ処理施設運営負担金	1億2,348万円
★除雪車整備(2台)、除雪車庫整備(頓原)	9,233万円
住宅店舗リフォーム補助金(新築住宅の下水接続費を対象に追加)	186万円
古城団地改修	3,400万円
消防団関連経費(消防団活動経費、車両更新)	6,087万円
令和3年7月豪雨災害復旧費(河川等70件)	8億5,585万円
合併浄化槽新規設置(10基)	1,320万円



## 教育・文化・子育て

★子ども広場(来島交流センター敷地内)の整備	330万円
子育て支援(出産祝金、子育て給付、医療費助成等)	3,732万円
★子ども家庭総合支援拠点の設置(児童虐待防止対策)	348万円
保育所の運営	2億7,866万円
★今後の町の教育環境を検討する委員会の開催	75万円
★瀬戸山城の島根県史跡指定に向けた調査	51万円
★国民スポーツ大会に向けたソフトボールチーム設立支援	13万円



## 産業

町産米の有利販売を図る取組(生産者大会、PR活動等)	581万円
リースハウスの整備(上赤名4棟)	2,546万円
育苗センター機能強化整備	7,574万円
乳用牛の生産拡大への施設整備補助金	4億5,340万円
第12回全国和牛能力共進会に向けた出品対策	189万円
★バイオマスセンターの原木ストックヤード整備	5,500万円
★町産材を活用した住宅建設への補助金	400万円
★町内事業者商品を扱うオンラインショップ開設	130万円



## 令和4年度 当初予算の概要

令和4年度一般会計当初予算は、令和3年7月豪雨の災害復旧費を計上したことから、昨年度と比べ12.9ポイント(9.5億円)の大幅な増額となりました。令和3年度当初予算は町長改選期であったため、計上を保留した事業がありましたが、令和4年度当初予算では、新築住宅建設支援事業などの新しい事業を計上していることも増額の要因となっています。歳出額の増加に対し財源の確保が極めて厳しい状況であり、財政調整基金2億3千万円、減債基金1億5千万円を取り崩す予算としています(基金=貯金)。

■問合せ/総務課(財政担当) ☎76-2211

一般会計・特別会計合わせて

**113億2,143万円**

前年度比  
8.7  
ポイント増

【町民1人当たり・1世帯当たり】令和4年4月1日現在

●人口:4,595人 ●世帯:2,012戸

[使用する費用]	[負担する税金]
1人当たり:181万円	1人当たり:10万円
1世帯当たり:414万円	1世帯当たり:23万円

会計名	予算額	前年度比
一般会計	83億3,581万円	12.9ポイント増
国民健康保険事業	6億5,787万円	7.3ポイント増
後期高齢者医療事業	1億8,134万円	2.3ポイント増
介護保険サービス事業	3,234万円	15.1ポイント減
病院事業	12億4,725万円	0.9ポイント減
簡易水道事業	3億6,732万円	12.3ポイント減
下水道事業	4億9,950万円	5.0ポイント減
合計	113億2,143万円	8.7ポイント増

## 一般会計当初予算 83億3,581万円

### 歳入

依存財源	地方交付税	38億円(45.6%)
	国県支出金	19億5,363万円(23.4%)
自主財源	町債	7億6,590万円(9.2%)
	町税	4億7,014万円(5.6%)
	繰入金	6億3,970万円(7.6%)
	その他	7億644万円(8.6%)

歳入全体に占める地方交付税・国県支出金・町債の割合は78.2%で、歳入の大部分を国や県などから交付されるお金(依存財源)に頼っています。地方交付税は公債費にかかる費用の増を見込み1.5億円の増加、国県支出金は令和3年7月豪雨災害復旧のための補助金などにより5.5億円増加しています。しかし、災害復旧費や公債費、事務組合負担金などにかかる費用が昨年度から大幅に増えたことから、基金を取り崩すこととし繰入金が3.1億円増加しました。

### 歳出

民生費	13億1,232万円(15.8%)
総務費	12億6,977万円(15.2%)
農林水産業費	12億5,428万円(15.1%)
公債費	11億187万円(13.2%)
災害復旧費	8億5,585万円(10.3%)
衛生費	8億2,345万円(9.9%)
土木費	6億3,906万円(7.6%)
教育費	4億4,384万円(5.3%)
商工費	3億1,744万円(3.8%)
消防費	2億4,540万円(3.0%)
議会費	6,053万円(0.7%)
予備費	1,200万円(0.1%)

令和4年度に新たに計上した事業は、令和3年7月豪雨災害の災害復旧費8.6億円のほか、総務費の定住住宅整備1.3億円、農林水産業費の育苗センター整備8千万円やバイオマスセンター整備6千万円などがあります。昨年度と比較して、民生費の障がい者福祉費で4千万円、保育所委託料・修繕料で3千万円などの増加がありました。借金の返済費用にあたる公債費は約11億円で年々増加傾向にあり、返済費用に充てる資金の調達に厳しくなっています。一方で、災害復旧を優先させるために道路改良事業の実施を抑えたことなどで土木費は減少しました。